

ゲイカップルも公団に住める!!

~大阪府議会議員 尾辻かな子さんに聞く!
ハウスシェアリング制度~

先日、こんな記事が新聞に載っていた、「大阪府住宅供給公社、単身者同士の入居OK」新聞によれば、「ルームシェア、同性カップルOK」なんて見出しが出ていた新聞もあって、「ハッ」としたんだ。みんな、気がついたかな? もともと、公社が住への入居は血縁や婚姻関係のある家族との同居が原則。昨年10月にやっと入居基準が緩和されて、一人暮らしでも可能になっただけで、ゲイにはちょっと嬉しい印象だったものの、ところが、前回の入居緩和から1年で、同性カップルOKには、何があったんだ!! この「ハウスシェアリング制度」も少し詳しく記事には、スピアであることをカミングアートしている尾辻かな子議員が府議会で質問し、実現の確率を知り取ったらしいことが書かれている。

これは、直接、会って話を聞いたりしてここで、今回は、オニこと鬼塚哲郎さんを聞き取り、ゲストに尾辻かな子さんをお迎えしてお話を聞いています。



大阪府議会議員
尾辻かな子さん
彼女の活動ぶりはRKBでも
ここにあります。
<http://www.rkb.co.jp/campain/otsu/>
著書『カミングアート』
一分多うさんを見つける旅』
講談社 1575円(税込)

オニ「今回のハウスシェアリング制度、新聞の発表を見るまで全然知らなかつたんだけど、どういう経緯で認められたものだったのですか? 大阪が初めてなのかな?」

尾辻「ハウスシェアリング制度は、実は都市再生機構では昨年から実施されていますが、住宅供給公社としての実施は大阪が最初に早年の早い時期には実施された予定なんですよ。実はハウスシェアリングは、「多様な家族のあり方に対応する」という、いくつかの提案の中の一つで、実はもっと重要な事柄も議論されたんですよ。」

オニ「重要な事柄? 何についてなんですか?」

尾辻「JR福知山線の脱線事故時に、病院によって個人情報の開示にはばらつきがあったんで、災害時には家族等からの問い合わせが多かったんです。そこで、災害時に患者の情報を開示できる第三者は、同性パートナーも含むべきかどうかを質問したんです。この件に関しては、国土交通省から第三者の範囲について、厚生労働省から、駅の人の関係者も含まれるとの見解が、JR福知山線の脱線事故を発表に示されました。從て、同性パートナーについては、災害時において、患者の個人情報を提供できる第三者に含まれるものと考えます」と回答してもらえたんです。

オニ「事故自体はとても悲しいできごとだったけど、こういうことで進むこともあるんですね」

尾辻「それとですね、入院の際の病院の対応についても質問したんです。例えば、患者が重篤な状態で入院した時、多くの病院では血縁関係のある家族のみが患者との面会や病状を聞くことを許しますよね。同性パートナーは外に置かれることが多くなったなので、府立の病院における同性パートナーの面接・病状説明等の取り扱いも質問したんです。これに対しては

尾辻「現実に患者の世話をしている親族及びそれに付随する者を、説明対象に加えています。家族に限定することなく、患者の意思を尊重して対応してまいります」と、患者の意思が優先されるという回答を頂きました。厚生労働省のガイドラインに沿って対応していることは、全国の病院でも、同様の対応が可能だということなんですよ」

オニ「これらは、もう国が方針を出しているんですね。大切なことなのに、全然知らなかつた! こういうことが決まるには事前に色々と準備があったんですね?」

尾辻「ええ。レズビアンやゲイ、バイセクシュアル、トランジンジャーといった性的マイノリティを中心とした政策を考える会やゲイ・リブの団体での勉強会などで色々と話し合った結果を、私も同席して大阪府に要望書として提出したりしていました。そういった地道な運動の積み重ねが、こうした結果を引き出したんだと思いますよ」

オニ「政治はなんだか遠いものと思っていたけど、こちらからの働きかけで変わることもあるんですね。今日は大変、勉強になりました」

尾辻「そこで、忙しい中、尾辻さんはわざわざdistalにまで来てもらお話を伺いました。

公園にゲイ・カップルも住めるや、へぇ~という軽い気持ちで尾辻さんにも来て説明してもらわなければと思ってこの課題。お互いの家族や友人、職場の仲間にカミングアウトしているカップルなら良いけど(そんな人、少ないよね)、そういう場合、まず連絡が出来ないことがある。連絡があつても家族の意見が合うかどうか分からないことが多いです。色を考えました。

だから、こうやって少しだけ動いているのは、尾辻さんはカミングアウトして、積極的にスピアやゲイのことについて発言してくれるおかげ、ゲイの中からカミングアウトして当選する人や、当選した後カミングアウトしてくれる議員がいたら、また一步進むのもかもしれないなあ。また、とりあえず次の選挙にはちょっと勉強してから行こうかな、なんて思いました。(文責・タカキ)

>>>CINEMA

MULTIPLE CINEMA MANIACS

マルチブル
シネマ
マニアックス

今回のこのコラムは、特別企画でお送りするわよ!
DISTA第3回壁面の「CAMP」でお見染み、映画ライターの
寺田純氏によるスペシャルインタビュー。

監修 エリザベス・ローラム
出演 アンナ・スワン、ソラーナ・チャーリー
心斎橋アート・ビューティフル・ホール

トランジエンサーの元ムエタイ選手と、
彼女が演じたタイのムエタイ俳優に会つたよ!

タイ映画「ビューティフル・ホール」は、リンクで半数を
そして上位の同一性障害のムエタイ選手の半生
を描いた人気映画。監修は、心斎橋アート・ビューティフル・ホールの元ムエタイ選手と、
昨夜は、その映画のモデル、バンガーン・ジルーンボン
ンは「どんなにうらやましく思っても、彼女が演じた彼は、
タイのアカデミー賞で呼ばれる、堆成あるスパナホン
ではない。一人一人、練習して、時には山で勝つてた
わ。そうしたら、私の素顔を誰も気に留めなくなると喜んで」。
その後、彼女は「一年の元エヌエイ選手アーティストとして、彼女は有名になるために、
自分が何を演じるか、一生懸命に思つたんだね」と語る。彼の「バンガーン」
がお母さんと一緒に、彼女が演じたタイのムエタイ選手として、
タイ映画「ビューティフル・ホール」に登場する所である
が、それは、彼女が演じたタイのムエタイ選手として、
人生でなんといふ思いをしたんだろう。このヘル
に至るまで、どんな努力をしてきたのかって、考えると
よくなつたんだ。

今作が俳優としてのビューティフル・ホール、そこで撮影
前に「バンガーン」と行動を共にしながら、女性の心を

>>>CRUISING

THE DASH

マルチブル
シネマ
マニアックス

このコーナーは、MASH大阪スタッフの中でも1位、2位を争うハッチャン大好き!

デラックス好き! な

超ワルトロード! タクシードライバーの恋愛、運転、おしゃれギャルグリ

と、恋愛の物語が詰まった恋愛小説。直近のところでは、

「ほんとにこだわって」(沖野)で恋愛の面白さを語る

今月はロサさんの担当です。

この35「風邪予防を兼ねて」

風邪が流行る頃だし、常備しているインソーン

系の薬は、誰もがいると思いますが、

本当に必要な薬は、

見事に、そこには誰もいると思いますが、

本当に必要な薬は、

</